

**A** 金子 まちづくり課長

ドリップシャフトは固定されたもの。マンホール内への土砂等の堆積対策として、流入口を土砂等の流入を防ぐ構造としているが、入る可能性があり、設置後の管理のため、階段等でマンホール内に降りられる構造としている。

**Q** 小永 正裕議員

工事に先立つ現地調査などは十分だったのか。

また、この工事と次の調整池の工事の両方が、長い間中断していたと聞いたが、中断の原因は。

**A** 金子 まちづくり課長

現地調査は、コンサルと町とが十分協議、確認しながら進めてきた。

中断の原因は、実際4億円以上の工費が必要なところ、平成27年度予算の内示額が少なかつたため、このような施工方法となった。

